

竹を運び出す参加者



# 力合わせ竹林整備

富山総合支援学校PTAら80人

## チップや花の鉢に再利用

**富山**

富山総合支援学校PTA（山本謙二会長）

は3日、富山市金屋の同校グラウンド横の竹林整備を行った。里山再生に取り組むNPO法人きんたろう倶楽部（同市）が協力し、保護者と教職員、地元住民ら約80人が力を合わせて作業した。

グラウンド横は急斜面に竹が生い茂り、環境の安全を守るため毎年実施している。自然への関心やお互いの交流を深める場にもなっており、8年目を迎えた。

同倶楽部の会員が竹を伐採し、PTA会員らが運び出した。竹はチップにするため粉碎机に入れたほか、短く切った花の苗を植えフラワーポットにした。

クラフトのコーナーも設け、子どもたちが木片や木の実などを使った工作を楽しんでいた。

北日本新聞 平成29年6月4日(日)